

議会報告

JR津田沼駅 南北駅前
環境整備の推進に
取り組みました。



習志野市議会議員 相原かずゆき 47歳

相原かずゆき ホームページはこちら

<http://aihara1002.com/>



議会報告

今日から明日へ 着実に政策実現

2019年4月より都市環境部に 都市再生課が、誕生します。

所有者:習志野市

- ・ロータリー
- ・ペDESTリアンテッキ
- ・習志野文化ホール

所有者:国(財務省関東財務局)

- ・津田沼公園

所有者:野村不動産(株)

- ・モリシア津田沼



平成31年 習志野市議会 第一回定例会の一般質問において、将来的な市街地開発事業を見据えた体制整備を図るため新設する都市再生整備室のうち、新設される都市再生課について、目的と今後の方向性について行政に質問をしました。

行政答弁は、下記の通りでした。

平成27年度には、JR津田沼駅周辺地域まちづくり検討方針を定め、「いいね！駅近歩きたいまち」をまちのイメージとし、求められる機能を整理した。現在は、この検討方針等を踏まえ、本市の玄関であり唯一の広域拠点であるJR津田沼駅周辺地域として、相応しいまちづくりを目指している。このたびの都市再生課の新設により、市街地開発事業の推進を目的としている。

現在、策定に向けて取り組んでいる「都市再開発の方針」案に基づく市街地再開発事業に特化した業務を主に担当する。

また、今後の方向性は、民間事業者による建物の建て替え等の機会を捉え、民間活力を活かした「都市再開発の方針」に沿ったまちづくりを目指す。

習志野市の表玄関に求められる機能は、どのようなものでしょうか？

私は、文化芸術の拠点施設である習志野文化ホールをはじめ共働き世帯をサポートできる子育て施設と、駐車場や憩いの空間としての公園などと合わせ賑わいの創出を目指すため公民連携の事業が、進められることだと思えます。ここで重要なのは財源の確保だけではなく財源を生み出す事業にすることだと考えております。皆様からご意見をいただければ幸いです。

次世代に輝く習志野を継承するために、
私が2015年の選挙公約として掲げた
5点の事業化の推進状況についてまとめました。

- ① 東日本大震災からの災害復旧・復興。
「液状化等被害住宅再建支援制度」の積極的な周知活動。
境界標準の復元を目的とした「地籍地積調査」の実施。
- ② 鷺沼地区の調整区域 環境整備。
本年4月より「区画整理課」を設置し事業化に向けスタート。
- ③ JR津田沼駅 南北駅前 環境整備の推進。
本年4月より「都市再生課」を設置し事業化に向けスタート。
- ④ がん検診受診率向上のための政策推進。
子宮がん集団検診の際、子育て世代が受診しやすく工夫。
胃がんリスク検診開始(5歳刻みで40歳から80歳まで)。
- ⑤ 市民の生活に沿った用途地域見直しを推進。
建築基準法の改正に伴い買い物不便地域に、一定の条件を満たせば
コンビニ設置が可能に。

お問合せ・後援会入会のお申し込みは
相原和幸後援会まで

〒275-0014
習志野市鷺沼1-11-14
TEL:090-2478-7979
FAX:047-453-2918
G-mail
aihara1971@gmail.com
ホームページ
<http://aihara1002.com/>

相原かずゆき